

# 私たちのシユウカツ

安城特別  
支援学校の1年

安城市桜井町の安城特別支援学校高等部では卒業後を見据えて、実際の社会で必要な知識や対応力を養う授業も重視している。就職すれば人間関係のトラブルや金銭の管理など、高校時代とは違う問題に直面して困ることがある。巧妙化する二七電話詐欺などに巻き込まれる危険性も。「自分で考えて判断する力を養うのはとても大切」と、同校の西堀哲夫教頭が話す。  
(四方さつき)

## 将来に向けた授業

⊕

ある日の授業。高等部進路指導主事の説田智洋教諭と三年の男子生徒による、台本なしの即興芝居が始まった。休日に生徒が駅前で友人と待ち合わせをしている場面から始まる。説田教諭は明るく丁寧な言動で、生徒に声をかける。悪徳商法の勧誘役だ。「私、〇〇市美しいまちづくり協会の説田です。ちょっとお時間よろしいでしょうか」。男子生徒は朗らかに「はい、いいですよ」と応じた。

「美し(こ)街(へ)りに興味

# 悪徳商法身を守る力を



男子生徒を相手に即興芝居をする説田教諭(左)=安城市桜井町の安城特別支援学校で

「この後、〇〇君は大変？」と戸惑う生徒たち。一なことになってしまいま。人の生徒が手を挙げ、「連絡先などの個人情報をお教えかな？」。説田教諭の問いに「はい、いいですよ」と答える。説田教諭は「え？」と返す。

「資料を送っていいと答えた〇〇君の家には『きれいな街DVDセット』が届き、中には高額な請求書が入っていました。これがキヤッチセールスという手口です」と話した説田教諭。「実は先生もたまにされたことがありますが」と打ち明けた。外見だけだと、悪い人かどうか分からないです」と生徒。「そうなんだよね。手口もいろいろだから、誰でもたまにされる可能性がある。一人で判断せず、信頼できる人に相談することも大事だよ」。説田教諭はクーリングオフの制度や相談窓口として消費者生活センターなどがあることを伝えた。実際、悪徳商法などの被害に遭い、苦しんだ卒業生もいる。「そんな場面に遭遇した時に『これって授業で聞いたことあるな』と思いついてくれれば」と説田教諭。さらに授業では、対人関係や心のケアにも気を配る。